

4月初旬に駐ナミビア日本国大使として着任しました原田秀明と申します。

私は、ナミビアが独立して間もない1990年代に在南ア大使館に勤務していた時代に当地を訪れる機会がありましたが、約20年経った現在、当時と比べると首都のウイントフックは新しいショッピング・モールを始め多くのビルが建ち並び、道路が郊外に延び、車も増え、また、行き交う人々も活気があり街の発展を確認しました。当時と変わらぬものと言え、澄んだ青空と、きれいに清掃された街並み、更に、親切で、フレンドリーな人なっつこいナミビアの人々でしょうか。

ナミビアは、日本の2.2倍の国土に対して約250万人の人口で、人口密度は3人/km<sup>2</sup>と世界で最も人口密度の低い国の一つだそうです。ナミブ砂漠、エトーシャ国立公園等豊かな自然とウラン、ダイヤモンド等の地下資源、水産資源を有し、更なる発展のポテンシャルを有する国です。日本との関係で見ると当国在留の邦人は約50人と限られており、数社の合弁会社を除き、我が国からの投資は未だ限られています。日本はエビ、かに等の海産物を中心に輸入し、日本からは自動車、自動車部品等を輸出しているとの状況です。

当地に大使館が開設されて4年目を迎えますが、政治、経済、文化等様々な分野で、特に人物交流、経済交流が拡大していくよう当国の関係者及び皆様のご支援・協力をいただきながら二国間関係の強化・拡大のために尽力して参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

2018年4月